

横浜市都筑区地区センター
及び横浜市つづき緑寿荘
指定管理者選定委員会
選定報告書

令和5年10月

1 経緯

横浜市勝田小学校コミュニティハウスの指定管理者の選定にあたり、横浜市都筑区地区センター及び横浜市つづき緑寿荘指定管理者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、主に公募要項・評価基準項目の作成・公表、応募団体からの申請書類の審査、面接審査（応募団体のプレゼンテーション、質疑応答）、採点審査を行ってまいりました。

このたび、選定委員会により指定候補者を選定しましたので、次のとおり選定結果を報告します。

2 選定委員会委員（50音順・敬称略）

委員長 藤崎 晴彦（横浜市立大学 国際商学部准教授）
委員 朝倉 弥生（勝田団地地区民生委員児童委員協議会 会長）
委員 末広 多親子（中小企業診断士）
委員 中山 敏明（かちだ連合自治会 会長）
委員 宮崎 亮（元 都筑区 PTA 連絡協議会 会長）

3 指定期間

供用開始*から令和 11 年 3 月 31 日まで

※令和 6 年 9 月頃を予定

4 選定の経緯

令和 5 年 6 月 20 日 第 1 回指定管理者選定委員会（選定方法、評価基準、公表内容、公募要項等の決定等）

令和 5 年 7 月 10 日 公募要項配布開始

令和 5 年 7 月 25 日 応募者団体説明会

令和 5 年 7 月 24 日～28 日 公募要項等に関する質問受付

令和 5 年 8 月 9 日 質問に対する回答

※質問の申込はなし

令和 5 年 8 月 21 日～25 日 応募書類受付

令和 5 年 9 月 26 日 第 2 回指定管理者選定委員会（応募者面接審査、採点審査）

5 応募団体

特定非営利活動法人つづき区民交流協会

6 選定にあたっての考え方

選定委員会では、「横浜市勝田小学校コミュニティハウス指定管理者公募要項」（以下、「公募要項」という。）で定めた「評価基準項目」に従い、応募団体からの申請書類の審査、面接審査（応募団体のプレゼンテーション、質疑応答）を実施し、選定委員会において指定候補者を選定しました。

なお、応募団体については、必要書類の提出をもって、公募要項に定める「欠格事項」に該当しないことを確認しています。

また、点数については、各選定委員が 145 点満点で採点した上で、その合計点を選定委員会の点数とし、合計点が最も高い団体を指定候補者としました。

応募団体が 1 団体のみの場合であっても、選定委員会の定める基準に満たないときは、指定候補者として選定されないこととし、最低制限基準を満点の 145 点から「加点項目」を除いた 140 点の合計点の 60%以上としました。今回は、選定委員 5 名が出席したため、最大点数 700 点の 60%である 420 点を最低制限基準としました。

<評価基準項目>

1 基本条件の理解度 (10点)	1-1	・「施設の設置目的」や「区役所の施策上の施設の位置付け」及び施設内容、機能等を適切に理解し、これを踏まえた管理運営の提案がなされているか。(5点)
	1-2	・「地域特性」を適切に理解し、地域ニーズを踏まえて、地域コミュニティの醸成や地域の連携に繋がる管理運営の提案がなされているか。(5点)
2 公平性 (10点)	2-1	・全ての利用者に対して公平な利用機会の提供が可能となっているか。(10点)
3 安定性・安全性 (25点)	3-1	・安定的な管理運営を継続できる職員体制が取られているか。(5点)
	3-2	・個人情報保護その他の法令遵守体制について明確に示され、職員の業務習熟、資質向上のための研修が十分に行われる計画となっているか。(5点)
	3-3	・横浜市(区)防災計画等を踏まえ、公の施設としての役割を果たす計画となっているか。 ・地域と連携した日常的な防災への取組がなされているか。(5点)
	3-4	・設備の故障、事故、犯罪等を未然に防ぐ管理運営体制が取られ、緊急時の対応や危機管理の対応が具体的に計画されているか。(5点)
	3-5	・コミュニティハウス内における、安全かつ安定した施設及び設備の維持管理計画、長寿命化に貢献する修繕計画となっているか。(5点)
4 運営の実施効果 (15点)	4-1	・地域コミュニティの醸成や地域の連携を促進させる具体的な取組などが提案され、地区センターの基本理念を効果的に達成する運営計画となっているか。(10点)
	4-2	・利用者数、施設稼働率の向上に対し、有効な対策が示されているか。(5点)
5 利用者ニーズの把握、利用者サービス向上の取組 (20点)	5-1	・利用者ニーズを捉えるための有効な手法が示され、施設運営に反映させる仕組みが具体的に提案されているか。(10点)
	5-2	・利用者サービスを向上する取組について、具体的かつ現実的な提案がなされているか。(10点)
6 効果的な自主事業展開 (20点)	6-1	・地区センター自主事業の趣旨に沿った計画となっており、地域住民の自主的活動や相互交流の促進が具体的に見込める提案内容となっているか。(5点)
	6-2	・内容が多岐に渡り、幅広い層の住民が参加できる計画となっているか。(5点)
	6-3	・質の高い事業を行う工夫が行われているか。(5点)
	6-4	・地域住民が参加しやすい参加費設定を基本としているか、多彩で魅力的な事業の実施にあたっては妥当な参加費の設定となっているか。(5点)
7 効率性 (25点)	7-1	・施設及び設備の維持管理計画に効率化の工夫が見られるか。(5点)
	7-2	・収支計画は適切か。(10点)
	7-3	・運営の効率化等により、指定管理料の削減に繋がっているか。(10点)
8 積極性、意欲 (10点)	8-1	・本業務に取り組む姿勢や提案内容に強い意欲、積極性が見られるか。(5点)
	8-2	・横浜市の重要施策の実現に向けて、積極的に取り組んでいるか。(5点)

9 団体の資質・実績 (10点)	9-1	・団体の経営状況、社内体制、業務実績が本業務遂行上問題の無いものであるか。(5点)
	9-2 (加点項目)	・応募団体は、市内中小企業等(次の①～③)であるか。 ①市内中小企業 ②中小企業等協同組合法第3条に規定する事業協同組合、事業協同小組合及び信用協同組合のうち、市内に住所を有する者 ③地域住民を主体とした施設の管理運営等のために地域住民を中心に設立された団体 ※②の場合は、代表団体が市内中小企業等であること (5点)

7 指定管理者指定候補者

	指定候補者	次点候補者
団体名	特定非営利活動法人つづき区民交流協会	※応募団体が1団体のため、該当団体なし
代表者	理事長 萩野 幸男	
所在地	横浜市都筑区茅ヶ崎中央 29-5 森ビル 204	

評価項目	獲得点数
基本条件の理解度 (50点)	42点
公平性 (50点)	40点
安定性・安全性 (125点)	91点
運営の実施効果 (75点)	60点
利用者ニーズの把握、利用者サービス向上の取組 (100点)	70点
効果的な自主事業の展開 (100点)	78点
効率性 (125点)	100点
積極性、意欲 (50点)	41点
団体の資質・実績 (25点)	23点
団体の資質・実績 (加点項目) (25点)	25点
合計点 (725点)	570点

<審査講評>

指定候補者 (特定非営利活動法人つづき区民交流協会)

- ・団体の財務状況としては過去の実績や収支を見るとおおむね問題なく、良好である。財産的な基盤は安定的で債務超過ではない。正味財産についても一般企業と比べて高い水準である。
- ・提出された収支計画は過去の実績により作成されていると推測されるため、信頼に足るものであり、履行可能な計画になっている。
- ・地域の現状を見た上で、様々なセグメントを考慮し、現実的な計画を立てている。一方で一般論のことが多く、具体的な目標が見えてきてほしい。特に、指定管理期間にわたる利用者数などの具体的な目標がない中で、計画を立てている印象をうけた。
- ・災害時にぜひ機能を発揮してほしい。

- ・外国の方が多いため、子どもたちの居場所づくりを頑張ってもらいたい。また、遊び場だけでなく、勉強する場所、教えてくれる場所等になってほしい。
- ・世代間交流の仕組みづくりを作ってもらいたい。
- ・人の配置について14施設も運営しているため、経営組織の交流等スケールメリットがある。
- ・幅広い事業提案により、多くの利用者にとって居心地の良い施設になることが期待される。
- ・ウェブアクセシビリティへの対応や個人情報保護体制への回答から負担のかかるシステムや仕組みの導入に消極的な印象を受けた。これらは、利用者サービスの質の維持・向上に不可欠であるのみならず、組織内のPDCAサイクルの構築による事故防止にも有効なため、資金を惜しまず積極的に導入することを強く望む。
- ・応募団体は、これまで選定対象施設を受託運営してきた実績を持つが、今後は、指定管理者制度が「公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図る」ものであることを十分に認識し、選定対象施設の設置根拠である地区センター条例や運営方針を示す仕様書および特記仕様書等を遵守した、「利用者本位の施設運営」に取り組まれることを期待する。